

響灘地区における発電所集積状況について（報告）

現状見通し	参 考 ※2
【大規模火力】 ① 西部ガス LNG火力 最大160万kW （環境アセス中）	【大規模火力】 ・石炭火力 100万kW ・LNG火力 100万kW
【中規模火力】 ② 響灘エネルギーパーク バイオマス・石炭混焼火力 約10万kW（環境アセス終了） ③ 響灘火力発電所 バイオマス・石炭混焼火力 約10万kW（環境アセス中）	【中規模火力】 ・約20万kW
【洋上風力】 ④ NEDO 次世代浮体式洋上風力実証 2基：7,450kW（環境アセス中） 【陸上風力】 ⑤ ウインドエナジーリサーチパーク 2基：6,600kW（環境アセス終了） ⑥ エネ・シードウインド 2基：4,000kW（環境調査終了）	【洋上風力】 ・約30万kW
合計 最大約180万kW規模 年間最大約500万トン-CO2※1（概算）	合計 約250万kW規模 年間約800万トン-CO2※3（概算）

※1 燃料使用量見込みに基づく概算であり、実際の稼働状況に応じて変動する

※2 平成25年度地域エネルギー推進会議で示された発電可能規模（概算値）

※3 議会（委員会）での、CO2排出量の質問に対する、回答数値（一定条件の下での全体概算値）

●上記のほか、環境省「平成27年度風力発電等に係る地域主導型の戦略的適地抽出手法の構築事業」において、最大70万kWの可能性を有するモデル地域として選定された。